

第3回議会報告会概要報告一覧

担当班	開催月日	開催時間	場 所	出席者数
1 班	11 月 22 日 (火)	19:00～20:35	新里福祉センター	14 名
	11 月 24 日 (木)	19:00～20:15	津軽石小学校	17 名
	11 月 25 日 (金)	19:00～20:30	宮古市役所	17 名
2 班	11 月 22 日 (火)	19:00～20:30	川井保健センター	16 名
	11 月 24 日 (木)	19:00～20:40	鍬ヶ崎小学校	25 名
	11 月 25 日 (金)	19:00～20:30	磯鶏小学校	8 名
3 班	11 月 22 日 (火)	19:00～20:30	山口公民館	11 名
	11 月 24 日 (木)	19:00～20:30	崎山公民館	14 名
4 班	11 月 22 日 (火)	19:00～20:57	西ヶ丘地区センター	10 名
	11 月 24 日 (木)	19:00～21:08	グリーンピア三陸みやこ	27 名
5 班	11 月 22 日 (火)	19:00～20:20	花輪農村文化伝承館	12 名
	11 月 24 日 (木)	19:00～20:10	重茂公民館	12 名
計			12 カ所	183 名

議会報告会開催結果

日時・会場	参加者数	担当議員
日時：平成 23 年 11 月 22 日（火） 19 時 00 分～20 時 35 分 会場：新里福祉センター	14 名	〔1 班〕 中 嶋 榮 長 門 孝 則 坂 本 悦 夫 須賀原 チエ子 伊 藤 清 古 舘 章 秀
質 疑 ・ 意 見 等	答 弁	
決算で未収入金が5億円との説明があったが未納金について議会で話し合ったか。	（決算特別）委員会で当局に対して質問をしている。当局では滞納処分や督促状を送付したり、財産差押えなどの処分を行っている。財産がない人でも納税力のある方についても当局で努力している。議会としては滞納担当職員を増やして滞納額を減らすよう要望している。	
被災して税収がいくら落ちるのか。	税収については把握していない。	
税収が大きいのは固定資産で次は自動車税だと思う。減収になった場合国から補填されるのか。議会ではどのように考えているか。	税収が減る分については国が負担してもらう制度もあるが、全て負担する事にはならないと思う。国に強く要望していく事になると思う。	
復興計画で市役所の移転が関わってくると思う。あの場所、あのままではと考えると議会だよりで言っている宮古市中心市街地計画にあるリアスロードはどこか。	末広町から築地までだと思う。 ⇒末広町から中央通り（入口）まで	
市役所が危険だから移転するとされればリアスロード整備も変わってくると思う。それと住まいと暮らしの中で公営住宅が 500 戸と説明されたがこれはまちづくりに入るのか被災者のためか。	まちづくりも含まれる。まちづくりを考えながら公営住宅を考えていくのが当然。地域の方々からは地域が過疎にならないために県・市の公営住宅がほしいとの要望がある。公営住宅は県で 450 戸から 500 戸ぐらい建設する予定になっている。市でもまちづくり計画をもって復興まちづくりの中で慎重にしていきたいと思います。	
なんといっても宮古は市役所をどこにするかが定まらなければ本当の宮古のまちづくりはできないと思う。高いところを示さなければならないと思う。	今回の震災で市役所は被災しマヒしたことも事実だ。被災しないようにしていきたいし、仮に移転とした場合にも市民が納得したうえの移転が図られるべき。	
議会では市役所の建替えが前提で話されているのか。	市役所は昭和 47 年に建設され、鉄筋コンクリート作りで 50 年ぐらいの耐用年数だと思う。耐震補強もやっていない。色々な考え方があり、合意のもとでやっていきたい。議会でもまとめた案では、移転を考えるべきと提言した。	
市役所の移転は分散するという考えもあるのか。システム機能の分散もないのか。市役所は安全なところでなければならない。	分散もいい考えだが、分散はほとんどないと思う。場所が問題。	

質 疑 ・ 意 見 等	答 弁
警察も被災した。一般的に安全な場所とか中心地とか郊外は、まちづくりで皆さんから意見が出てくると思う。警察も建設時の見通しが甘かった。 11月15日付けの新聞で106復興道路3区画の道路整備計画とのことだがどのような工事になるかなど青写真が出ているのか。わかりしだい周知してほしい。 茂市地区は大雨や台風などで水位が上がり、河川が埋まって護岸と同じになっている。和美から閉伊川合流地点までの砂利などを取っていただくよう県に要望してほしい。 仮設住宅は何戸建ち、利用状況はどうか。茂市に60戸建ったがひとりも入居していないが。 J R岩泉線が回復しない。冬期間に入り不便している。その後の進展は。	復興道路についてはわからないが、刈屋川の砂利については了解した。 仮設住宅建設戸数は2,010戸で入居者は1,800を越えている。 J R岩泉線についてはJ Rにお願いし、要望・陳情をしていく必要があると思っている。
通学する生徒が山田線が不通で（宮古から津軽石方面）不便を感じている。バスの増発をお願いできないのか確認してほしい。	いくらかは改善していると思うが確認する。 ⇒（後日回答）市としても、従前の鉄道運行時の運行回数の確保や通学生の学校近隣停留所での乗降など制限の柔軟化を要望しているところです。
106の改良が新聞に出たが、茂市橋の歩道がなく何十年もお願いしているが、盛岡横断道路整備計画では茂市を通らない予定のようだ。それで歩道を作らないのか。	県から聞いて回答する ⇒復興道路のうち、内陸部と沿岸地域を結ぶ地域高規格道路「宮古盛岡横断道路」（国道106号）については、計画が示されております。これによると茂市大橋は通らないで新しい橋がかかるものと思いますが、地域の要望により変更があるかもしれませんので、当然歩道がつくものと考えますし、そのように議会でも要望してまいります。
議会報に安全な地域づくりとあるが2番目に防波堤のかさ上げや国道と防波堤の一体整備とあり、どの程度かさ上げするのかわからないが、今回の津波で高浜・市役所のところもそうであったが車から外海が見えなく自分が危険なことがわからない。かさ上げしても外海が見えるように地域づくり計画にもりこむべき。	海が見えるように要望する。

質 疑 ・ 意 見 等	答 弁
市職員が三陸津波がここまで来ていると指をさし、今度の津波は想定内とテレビで言っていた。あれは不思議だ。まちづくりの説明のときにそのことをいったら、あの職員は危機管理にいなかったとの回答だった。そのことを指摘したのは盛岡で言われた。職員に注意すべき。	市に伝えます。
避難訓練を徹底すべき。田老の方が訓練時は年寄りの方は参加し、若者は参加しなかったと話していた。	
危機管理の中で、津波シェルターの考えはないのか。	防潮堤のないところは防潮堤、防災ビル、タワーの話がある。
避難指示は早くだしてほしい。今回は津波だが茂市あたりは水害があり、遠いところは避難場所まで時間がかかるので指示が遅いと避難場所まで行けない。無線は故障で使えないとおもっていたら、バッテリーをはずして重茂に持っていったとの話があるが。危機管理に落ち度がある。	

議会報告会開催結果

日時・会場	参加者数	担当議員
日時：平成 23 年 11 月 24 日（木） 19 時 00 分～20 時 15 分 会場：津軽石小学校	17 名	〔1 班〕 中 嶋 榮 長 門 孝 則 須賀原 チエ子 伊 藤 清 古 舘 章 秀
質 疑 ・ 意 見 等	答 弁	
寒くてここ（11 日夜体育館）に入った。 翌朝、車で薪を持ってきて火を燃やしたが 3～4 日経って教頭先生から火を消せといわれた。雪が降っているなか皆寒がっていた。防災対策で市からここに誰かいてほしい。水がなく皆さんがさわいでいた。水はお墓のところから私の車で汲んできた、火を燃やせる対策と権限を持った人を置いてほしかった。	学校の管理上の立場で話されたと思う。場所によっては火を燃やし暖まっていた、消防の団員が立ち会っていた。今後の課題として市長のほうに話をする。ここの避難所だけに役所の職員がいなかったのは残念だった。今後、避難所として利用されるところの設備については、通信設備、洋式トイレ、暖房機器、防災資機材、備蓄品の充実を図っていく。施設の建替えがされるときは、万が一に備え、授乳室、要介護者の面倒を見れるところ、防災に対しての本部的事務をやれるところを作ってもらよう要望している。	
地域コミュニティとあるが津軽石公民館が被災した。市の出張所も併設している。被災前と同様に併設して地区民が利用しやすいように早期に実現してほしい。	津軽石公民館は今年度中に解体するような話、教育委員会では平成 24 年度中に実施計画を作って 25 年度に建物の工事を着手したいとの案を持っているようです。津軽石地区の皆さんの意向、問題は場所どこにするか、場所を決めてもらえれば早く建ててくれると思う。	
避難道の関係ですが、赤前から藤畑に抜ける道は、今回の災害で重要な役割を果たしている。重茂、堀内、赤前の人が連絡を取って、市内と連絡が取れた、3m ぐらいしかない狭い道路です。拡張して国道 45 号までの橋を作ってほしい。災害に対応した橋としてつくってほしい。 仮設住宅に誰が入っているかわからない。個人情報問題でないと思うが、生活課の担当か。 ①自治会を作りたいと思っているが把握できない。生活課のほうでも自治会を作ればいろんな作業などができ楽だと思う。開いた目で指導してほしい。	各地区で避難道が問題、当然市でも力を入れることになっている。市のほうに申し入れる。 生活課です。 ①仮設住宅ですがプライバシーの問題があるがなんとか隣に誰が入っているかわからないようでは困ると思う。自治会の組織をつくるのかではいろんな方策を考えてもらうよう生活課に申し入れる。	

質 疑 ・ 意 見 等	答 弁
②水門（法の脇）が壊れている。早急に直してほしい。水害になった場合に水を上げる装置がついていたが発電機等がだめで予備に今２基ついているが、この間の雨ではぎりぎり間に合った。もっと多く降れば間に合わない。一番先に取り組んでほしい。川帳場とバス停の間の小さな水門も壊れている。早めに直してほしい。	②危機管理課に伝えます。
J Rの路線は山の方を通したほうがいい。今は金浜に駅がなくわざわざまげている。J Rに要望を出すだけか。	J Rのどのような路線にするかだと思うが、市では早く復旧してほしいと要望するしかない。
（J Rは）何年に開通するかはわからないのか。	何年はわからない。
①赤前は津波により郵便ポストが全部流された。車を持たない方々は津軽石まで歩いていかなければならない。赤前、堀内ぐらいにはポストをつくってもらいたい。 ②避難道路は今赤前から堀内までは通じているが何とか白浜まで繋げるようにできないのか。今のところ赤前のバス道路は水浸しになる状況だ。避難道路を重点的に通じるようにしてほしい。 ③先ほど放射能の測定は毎日やっているとのことですがホームページに出しているか？ホームページに出しているとすればどこに出しているのか？いくらさがしてもない。	①市の方を通じて郵便局に要望する。 ③環境課にのっている。
ガレキですが宮古に産業廃棄物の処理場がないのが残念だ。宮古市とか広域行政で近くに最終処分場を作してほしい。盛岡、江刺まで行かなければならない、自分たちの地域で自助処理できる仕組みをつくってほしい。	議会でも何回か提言を受けましたが実現に至っていない。実現できるよう努力をしていく。

議会報告会開催結果

日時・会場	参加者数	担当議員
日時：平成 23 年 11 月 25 日（金） 19 時 00 分～20 時 30 分 会場：宮古市役所	17 名	〔1 班〕 中 嶋 榮 長 門 孝 則 坂 本 悦 夫 須賀原 チエ子 伊 藤 清
質 疑 ・ 意 見 等	答 弁	
西町の町内会長をしている。現在仮設住宅が建っている公園の管理人をしている。12 戸の仮設住宅が有る。健常者 17 名、要介護者 3 名、通院中 8 名、入院 1 名、耳の聞こえない方 1 名が入所している。 5 月 10 日～6 月 4 日までに入所。工事終了の連絡が公園管理者の自分に来なかった。 仮設住宅を町内会に置いて世話をしている。ゴミ箱は合鍵をつくり渡した。プランターは面倒を見れないので返した（水道組合）市役所が機能していない。町内会にいても市役所が何も言って来ない。 からだの不自由な方もいるが、廻りと交流していない。社協が来ているが、会長の自分に名前も教えてくれない。7 月 30 日の市民懇談会で市長とプライバシーのことで討論したが、ダメだった。老人で 77 歳以上が 6 名いる。誰が誰だか分からず困る。 市長の毎朝の放送が始めは良かったが、事務報告が多く成り最後は呆れた。副市長にも話したが、部下がなっていない。ボヤ騒ぎも 2、3 回あった。 ①仮設の住宅の使われていない数は ②議会報告の告知をみやこ広報に出さない理由は	公園管理者に連絡しないのは心外である。県ではなく市の責任なので職員に注意する。 プライバシーは分かるが困っているのも確かだ。名簿を作成し役員だけでも知る必要がある。 ①2,010 戸建て、現在は 210 戸空いている。今後の利用法は家族 4 名以上の世帯に貸したり、介護や福祉、ボランティアで使用する。 ⇒広報みやこでは「11 月 1 日号」に、議会だよりでは「平成 23 年 9 月議会号（11 月 15 日発行）」で告知しています。その他に、防災無線での放送をしております。今後は、宮古災害エフエムの活用などを検討しています。	

質 疑 ・ 意 見 等	答 弁
①孤独死が山田であったようだが、宮古はどうか ②仮設に高齢者が多い。独り暮らしの方々を一軒、一軒廻ってほしい。 ③畳が入らないところがある。 ④一人暮らしの方が高台にあって民生委員が来なかった。避難所の宮古小学校にも民生委員が来なかった。当時の動きはどうだったのか。また、役員が名簿を作りたいと言ってきた。	①聞いていない。 ②社協やボランティアが廻っている。 ③畳の需要が多く、間に合わない。 ④様々なケースがあるのでは
民生委員も状況をつかめなかった。また、民生委員も高齢化していて大変だ。	
田鎖にいたが放送が聞こえなかった。宮町に父親を迎えに来たが危機感が無かった。 ①ライフラインが止まっていたので状況がつかめなかった。無線が聞きにくい危機管理がない。	①スピーカーの向きを調整してもらう。田鎖も聞こえにくい。予算をとって設置したい。
①公園の仮設に天井が付いていない。 ②（住まいと暮らしの中から）危険区域になり建設できない時は住宅を買い取るのか。 ③タラソテラピー施設の借入金はどうなっているか ④鉾ヶ崎のカメイの付近が地盤沈下している。かさ上げが必要だ。 ⑤早急に堤防を作ってほしい。 ⑥臨港線をサイクリングロードにしてはどうか。 ⑦市役所付近の防潮堤に亀裂が入っている。 ⑧（災害ネットワークから）田老から宮古市への新道路の早期完成を望む ⑨（防災の向上で）津波の避難場所が 46 箇所あるが、備品が何もない。	①ハウスメーカーによるので確認する。 ⇒仮設住宅は、県の許可の上でメーカーの設計で造っています。したがって、メーカーにより違いがあります。 ②集団移転は借地になる。 ③半分は返していないと思う。後ほど連絡する。 ⇒総事業費は 14 億 1,402 万 3 千円ですが、そのうち借入金（市債）が 12 億 4,860 万円で、平成 23 年度末で 6 億 7,567 万 5 千円残っております。
①選挙ポスターを市内で作らない議員がいる。市のお金でやっているのでも市内で作ってほしい。 ②避難所に民生委員が 2 カ所の方が来ただけだった。民生委員で仮設住宅を廻って居るのか？	①宮古市では議員にお金を出していない。各自で出して作っている。 ⇒被災した民生委員もいるなか、委員同士で連携を図り、見守りや相談対応等の支援活動を粘り強く継続しています。行き届かない点については、更に社会福祉協議会と連携を深め、徹底を図るようにはしてまいります。

質 疑 ・ 意 見 等	答 弁
(民生委員を) 町内会で推薦するが若い人で成り手がいない。	
①中央公民館の後ろに避難出来る公園を作ってほしい。 ②宮古病院への迂回路として常安寺の道が混んだ。山口から宮古病院への道路を早急に作ってほしい。	
民生委員が廻ってこなかったが被災した方もいて、自分の事で精一杯だったと思う。また、皆さんがバラバラになって地区を見るのが精いっぱいだったのではと思う。 家を建てるにあたり、方針が決まらないので商店街の復興も出来ない。 自己資金では難しいと思う。先が見えなくて苦しんでいる。 町づくりを集まって作る機会も無い。 宮古広報を 15 世帯分配っているが、昼だけの人もいる。また、45 世帯が半分になり前任者(民生委員)もなくなっている。	
まちづくりの最終が 3 月になるのか	
津波によって住民がバラバラになり自分の被災場所に手を付けないで去った人もいる。	
仮設住宅の談話室は被災者以外でも使えるのか。	調べて返事をする。 ⇒基本的には入居者が使用することになっていますが、イベントなどであれば使用することも可能です。ただし、基本的には個人であれば使用することはできません。管理は社会福祉協議会で行っていますので、使用したいときは相談してください。
仮設住宅にみやこ広報を配布しているが、他の仮設ではどうしているか。	行政連絡員が配っていると思うが、連絡員が決まらない仮設もあるようだ。

議会報告会開催結果

日時・会場	参加者数	担当議員
日時：平成 23 年 11 月 22 日（火） 19 時 00 分～20 時 30 分 会場：川井保健センター	16 名	〔2 班〕 横 田 有 平 松 本 尚 美 加 藤 俊 郎 田 中 尚 北 村 進
質 疑 ・ 意 見 等	答 弁	
刈屋財産区が金額的に突出しているがなぜか。	財産区は学校林など、合併のときの財産が引き継がれている。立ち木を売却したので金額が多い。	
地元産材を住宅に使うことは良いことなので奨励すべきだ。	復興住宅は今年度から建設するが、入居者の高齢化など予想数の把握が難しい。地元産材を使うことは地域経済にとってもよいことだ。 住田町の公営住宅は木造で一戸建て、地元産材を使用。ウッティかわいからも材料を提供した。	
タラソテラピーは廃止の方向なのか。	地下室にボイラーなど心臓部があり被災し廃止の方向だ。復旧には建設以上の予算が必要。地盤沈下もしており危険。当日は休館中で人的被害はなかった。	
J R 山田線鉄道ではなく専用バス路線の報道があったが。	正式には市に J R から申し入れはない。三鉄に比較して J R は対応が遅い	
議会の提言が市の復興基本計画に反映されているか。	被災者の生活再建支援資金や太陽光など再生可能なエネルギー問題、仮設住宅からの交通の利便性向上策、その他も反映されている。	
整合性がない場合は議会としてどうするのか。	理解を得るよう努力する。	
セシウム対策（農林業）畜産の痛手が一番大きい。林業ではしいたけの原木確保に苦慮している。森林組合では原木を扱わないとしている。日本一のしいたけ生産が危うい。	川井地区で牧草からセシウムが検出された。埋め立て処分すると聞いている。樹皮がセシウム汚染されていることは承知していたが、原木のことははじめて聞いた。持ち帰って経済常任委員会で議題としたい。川井のセシウム問題は正式に議会に届いていない。	
仮設住宅の空き室はなぜ起きたのか。	当初 1,800 あれば充足と予想し 2,010 戸建設。仮設住宅の建設を待ちきれず民間のアパートに入居した世帯もあり空き室が増えた。みなし仮設は 600 戸である。未利用の空き室が松山、茂市田鎖の 3 ヶ所 146 戸ほどあるが、今後、世帯分離や派遣職員の宿泊施設として利用予定。	
インフルエンザの流行の兆しがある。加湿器を保育所や学校に配備するべきではないか。	要望として当局に伝える。	
身障者の施設で災害のときに水洗トイレが使えなかった。避難所でプールの水を利用した。施設の水洗トイレの水確保を。	要望として当局に伝える。	

質 疑 ・ 意 見 等	答 弁
106 号道路改良でルート変更されたり道の駅の移転もあると聞いた。区界など住民の利便性と自然との調和を図るように要望する。	要望として当局に伝える。
市のシンボルは市役所である。1 階が被災したが、今後はどうするのか。	当面 1 億 7 千万をかけて 1 階を復旧して、そのあと優先度によって移転を検討する。機能が 1 か月ほどマヒし市民へ迷惑をかけた。合併特例債が使えるのかどうか、財源の確保も課題だ。
国保基金はどうなっているのか。 医療費がかさむ原因分析は。	財政調整基金が多い。2 3 年度引き下げたにもかかわらず基金が増えた。医療費の予測は難しく見込み違いがあった。基金のめやすは、国保事業費の 3 パーセントが適正といわれている。
医師確保の奨学金の状況は。田老・新里・川井診療所の医師確保を継続するように要望する。	奨学金利用者はなし。当地区は盛岡に近く医療面では恵まれているのではないかと。医師確保についてはわれわれも努力する。
道路の改良は市の経済発展につながる。復興支援道路として立丸峠のトンネル化を要望する。今がチャンスだ。	要望として当局に伝える。

議会報告会開催結果

日時・会場	参加者数	担当議員
日時：平成 23 年 11 月 24 日（木） 19 時 00 分～20 時 40 分 会場：鯉ヶ崎小学校	25 名	〔2 班〕 横 田 有 平 松 本 尚 美 田 中 尚 北 村 進
質 疑 ・ 意 見 等	答 弁	
鯉ヶ崎の復興状況を聞きたいのが一番。市の方針が伝わってこない。	市の基本計画はできたが、実施計画は現在進行中である。地区のみなさんの意向を聞きながら実施計画に生かすように行政が取り組んでいる。合意形成を図っている段階。鯉ヶ崎地区は防潮堤が課題となっていた。地盤沈下もしている。かさ上げ、道路の拡幅、区画整理事業。地籍調査。安全な場所への学校移転、屯所の復旧も行う。 仮設は原則 2 年、但し延長もあり得る。復興住宅の早期建設が大事だ。 ミニモノレールなど夢のある話し合いが行われているが、現実的なのかどうか今後検討される。	
防潮堤の建設計画や 4 メートル道路が何本できるのか。高台を造成するには山を削るしかない。先に大きな道路を作ってまちづくりをすすめるべきと思うがどうか。	防潮堤は県が建設する。震災後障害になる建物が無くなった。住宅の土地の確保、物揚場のかさ上げや幹線道路、避難道路をどうするかが課題である。従来の都市計画の手法では難しい。10.4 メートルの防潮堤でのシミュレーションで浸水区域の建築規制。集団移転は国が造成し、そこを借りるという考え方もある。4 メートル道路は、救急面もふくめ必要である。	
3 月に推進計画を決めるといっているが、土地もないのにできるのか。	土地の確保は、推進計画の中で検討されると思う。	
出崎地区を水産拠点とすることに賛成。地区とすれば観光地として早期に復興させてほしい。	歴史をすべて知っている訳ではないが、鯉ヶ崎・出崎全体は港湾であり漁港でないことが障害であり見直しが必要である。 水産業を早く再開し、浄土ヶ浜へつながる道路整備も必要です。	
被災者事業支援について、住所が変わったために支援を受けることができなかったなぜか。	住所の要件はない。200 件の申し込み。95 件県に認められた。 流失した事業者は該当しない。検討をしている。	
奥尻島は 5 年で復興した。2 年間の生活再建支援金の期間延長を。	市としても額のかさ上げ支援とともに、期間の延長が検討されている。 特別委員会では、宮古型復興住宅への補助制度も要望として当局に伝える。	

質 疑 ・ 意 見 等	答 弁
出崎地区を早く復興させるために港湾の復旧復興が急がれる。	国交省と水産庁とのしぼりがあるが、竜神崎防波堤、出崎地区の嵩上げも急いで行うこととなっている。
鍬ヶ崎から浄土ヶ浜への基幹道路の早期と地籍調査を早めてほしい。	要望として当局に伝える。
時化のとき藤原埠頭を利用すると使用料がとられるのか。無料になるよう県に要望として当局に伝えてしてほしい。	要望として当局に伝える。

議会報告会開催結果

日時・会場	参加者数	担当議員
日時：平成 23 年 11 月 25 日（金） 19 時 00 分～20 時 30 分 会場：磯鷄小学校	8 名	〔 2 班〕 横 田 有 平 加 藤 俊 郎 田 中 尚 北 村 進
質 疑 ・ 意 見 等	答 弁	
まちづくりが市民の最大関心事である。 幸い磯鷄地区の小学校から短期大学まで高台にあるため、ひとつも被害に遭っていない。 ①高浜から水高の第二グラウンドにかけて農道があった。その農道を命の道路とすべき。 ②煙突山から大谷地までを開発して宅地を確保すべきだ。縦貫道をまたいだ町となる。 ③市役所など公共施設は絶対安全な場所へ建てるべきだ。震災当日堤防で海が見えないので車が事故に巻き込まれた。これも問題である。 ④津波のとき放送がとぎれた。このため犠牲になった人もいると思う機能向上を図ってほしい。	①震災時、高浜と藤の川は孤立した。ご指摘の道路はキュウリ沢と思うが、議会としても強く当局に要望する。 ②当局には伝える。 ③市役所の移転は検討されているが、市民の復興、生活再建が優先される。議会提言では、特定の地を提言していない。移転の検討は復興計画にも盛られている。 現庁舎の 1 階部分は 5 月頃復旧の予定。 ④消防の無線と au が機能したが、防災行政無線は早い段階で機能できなかった。衛星電話は値段が高く備えることができなかった。	
①河南中学校となりの館山に防災無線をつけてほしい。 ②磯鷄地区（神社、刈屋さん）の防災行政無線は高台につけるべき。 ③電源が安定し放送があれば、もっと被害を防ぐことができた。 ④八木沢団地から大谷地のあたりに抜ける道路と八木沢から火葬場に抜ける道路を整備して避難道とすべき。 ⑤火事するときなど八木沢団地に道路が 2 つなければならない。	要望として当局に伝える。 要望として当局に伝える。 要望として当局に伝える。 要望として当局に伝える。 要望として当局に伝える。	
病院への道路はどうなっているのか。	北部環状線道路が 23 年度調査終了し、24 年度より県代行で建設が進められる予定。完成されれば今より速く宮古病院へ行けることとなる。	
復興計画の話し合いは、被災地・被災者のみの対応となっていることが多い。被災地以外の宮古市全体でまちづくりを考えるべきだ。「おぼんです市役所」に議員を招いて、八木沢団地として市のまちづくりについて話し合いたい。	「おぼんです市役所」は市当局が主催しており、議員の参加は如何か。自治会との意見交換会であれば可能であろう。	

質 疑 ・ 意 見 等	答 弁
早期復興のために、まちづくりの骨組みだけでも早く示せないのか。	市の案を示しながら住民の意向を尊重して実施計画策定をすすめているため、時間がかかっている。
各々が自分で家を建て始めると、まちづくりがうまくいかない。一ヶ所に集中できないものか。	音部の里地区では「元の場所に家を建てない」と住民で取り決め、高台の2つの部落に分かれて移転の方向で進んでいる。地域コミュニティは再生できると思う。
議会報告会はどのように知らせているか。	広報と市議会だより、行政防災無線で知らせている。
防災行政無線について、12時のチャイムや「火災予防」等の長い放送も同じことの繰り返しで、うるさい、やめてほしい。	要望として当局に伝える。
三河民宿近くで逃げる途中、藤原まで流された。陸橋のところに避難階段があればよい。フェンスがあるので山田線の線路をまたいで逃げられない。	要望として当局に伝える。
津軽石中学校裏の道路は狭かった。今回被災したことでまっすぐ広い道路をつくってほしい。	要望として当局に伝える。

議会報告会開催結果

日時・会場	参加者数	担当議員
日時：平成 23 年 11 月 22 日（火） 19 時 00 分～20 時 30 分 会場：山口公民館	11 名	〔3 班〕 茂 市 敏 之 坂 下 正 明 宇都宮 勝 幸 崎 尾 誠 内 舘 勝 則
質 疑 ・ 意 見 等	答 弁	
決算審査の中で、企業誘致について工業団地の記述があるが具体的にどこか。	宮古には工業団地がない。仮設住宅の用地にしたため、手持ちの土地がないという意味です。	
工業団地が仮にあったとしても企業がくるのか。実際に団地をつくったところで来てくれる企業があるか。また、どういう企業を誘致しようと考えているのか。	市民はいろいろ選択される訳だから、いろいろの業種の企業に来てほしい訳です。そのことにより雇用の範囲が広くなり雇用の場が確保されと考えているのです。	
三陸縦貫道の進捗状況はどのようになっているのか。	7 年以内に復興道路として完成させると聞いている。106 号はもっとかかるでしょう。	
昨年の国勢調査人口統計と広報に出ている人口の数値が一致しないのはどうしてか。60,328 人とあって、886 人一致しない差は何ですか。どちらを信用していいのか。	国勢調査の人口統計は地方交付税の算定根拠となる重要なものです。どちらを信用ということではなく、住民台帳に登録になっている数値が毎月広報に公表されているのが実質の数値です。	
22 年度の会計決算状況だが、予算に対して大きな差異があるのはどうしてか。	入札執行による入札残や、3.11 の震災の関係で予算が執行できなかったことが大きい。繰り越すものもある。	
合併特例債の市民文化会館はありえないのではないか。	アスベスト対策やリニューアルなど改修工事に合併特例債を活用したものです。	
委員会活動報告で同じ内容が記述になっているが理解できない。	委員会活動の同項目は合同会議を行ったと理解してください。	
タラソセラピーの施設は今回の震災で壊滅となった。この施設は、補助金で建設した施設だが今後どうなるのか。運営についての経費は、売上げと市の税金を投入していると思うがどうするか。	ご指摘のとおり、運営についての経費は、市の税金を入れています。震災で廃業したため収入が途絶えて運営が困難な状況なことから、タラソは廃止の方向となっている。	
補助金、交付金や債権等返済しようとしているのであればリスクがあるのではないか。	タラソの廃止は議会の承認を得て行っている。	
返済の義務が発生しているのであれば問題ではないか。	建てるためには補助金、起債といいますが借金している訳です。タラソ施設自体の運営が厳しいのです。毎年、4,000 万円の赤字がでている。借金である起債の 6 割は交付税として市に交付されている。 建てるときは、多額の補助金を受けて建てたわけであるが、今回の震災によって廃止の方向は余儀なくされた。特に 1 階の機械室は壊滅となった。それでも何とか建物自体を生かす方法が無いか検討しているところです。	

質 疑 ・ 意 見 等	答 弁
松山から千徳大橋の工事が進められているが、今でもY字路となっているところが渋滞混雑している。この工事を行って渋滞混雑は解消できるのか。 津軽石やあちこちにインターチェンジの構想があるが本当か。	渋滞混雑解消も念頭においてコース設定がされていると思う。 インターチェンジを増やし、迂回路等に利用できるように計画されたものだと思う。
鉄道はどうなっているのか。	まだ明確に方向性がでていない。
鉄道が決まらなければ復興計画は出来ない。	J Rのほうの考え方が示されていない。三鉄については、復興財源等で復旧できると聞いている。
市長のあいさつだが「宮古市は必ずや復興します」はもういい。 防災無線にて、議会開催の周知をしてほしい。一般質問等については、聞いてみたい。	開かれた議会として大切なことですので、市民の皆様にも周知できるよう努めていきたいと思いをします。
居住住宅に関してだが、代替の土地は借地になるのか。	借地が基本と聞いています。
3月11日から山口小学校でまとめ役をやってきた。受入れ520人、市の職員が全然来なかった憤りを感じた。情報がわからないため、警察からしょっちゅう叱られる場面があった46箇所にも職員がいかなかったのか。	たいへんご苦勞をかけました。
ライトもない、ストーブもない。校庭をスコップで掘ってトイレをつくった。各避難所にトイレをつくってほしい。避難所に伝達方法がない。避難所に救急施設をつくってほしい。	要望については、市に伝えさせていただきます。
企業誘致についてであるが、150人位で懇親会をやっているだけではないか。自分は法人会の役員をやっているが、現市長から一つも声がかかっていない。企業誘致に一所懸命取り組んでいると感じない。	企業誘致については、市側に伝えておきます。
T P P関係で宮古市はどういう対応をしようとしているのか。農業だけでなく、港湾補助、医療費等様々な弊害をもたらす。アメリカのいいなりになってはだめだ、アメリカ一辺倒ではないか。	T P P関係は、議会としては、意見書として議決し、国に対して、T P Pは拙速であると反対の意向を関係大臣に提出しております。
先ほど、誰かもいっていたが、松山からの道路は混雑する可能性がある。	平面交差と聞いている。
議会傍聴に行くのだが、一つの問題について、3人も4人もダブっている。調整すべきだ。うんざりする。答弁者は同じ内容で答弁している。 漁業振興は復旧復興に不可欠だ。	

議会報告会開催結果

日時・会場	参加者数	担当議員
日時：平成 23 年 11 月 24 日（木） 19 時 00 分～20 時 30 分 会場：崎山公民館	14 名	〔3 班〕 茂 市 敏 之 坂 下 正 明 宇都宮 勝 幸 崎 尾 誠 内 舘 勝 則
質 疑 ・ 意 見 等	答 弁	
震災復興特別委員会の提言の中味の取り扱いはどうなったのか。市、県の対応は。	提言に対して、市から回答をもらっている。復興検討委員会にも反映されていると理解している。	
（提言は）要望してまいりますではなく、強力に進めてもらいたい。		
住まいとくらしの再建のところの等価交換とはどういう意味か。面積が少なくなる可能性があるのか。	高台移転となった場合、今までの土地を評価し、それ相応の価格の土地と交換することで面積が少なくなる可能性もあると思います。 今日の朝日新聞にも価値が掲載されています。	
9 月定例会で市役所移転の話が合ったがどの位置詰まっているのか。	相当の財源が伴う話なので、市役所も浸水している関係から市役所移転の話題が出てきてもおかしくないのだが、復興推進計画の中に示されていくものと思う。	
民間では、宅地を造成しているという情報がある。坪いくらかとか。民間は早いので、そういった話が出る前に市のほうでスピード感をもって動いてもらいたい。	復興推進計画は、具体的に地区別の計画は、3 月末までに決定する見込みであり、地域の代表者も入れながら決めることとしている。 市では、浸水区域には出来るだけ建てないように自粛をお願いしている状況です。 高台移転に関して民間での売買が進んでいる。というのは初めて聞いた話である。	
小学校で市長が来たときお願いしたが、日出島漁港に行く道路が狭隘でしかも一本しかないので、大型トラックの通行ができず 4 t トラックが通れる程度である。早急に道路改良を進めてもらいたい。決壊するのは時間の問題だ、とりあえず復旧工事だけでも安心して通行できるようにしてもらいたい。		
北部環状線については、早期着工するよう進めてほしい。 議会だよりをみて、賛成者、反対者をハッキリ記述しているのは良いことだ。我々有権者はそれを見て判断する。 議会だよりの一番最後の意見書請願者が毎号同じ人が出てくるのはどういうことか。議員が真剣に議論して採択しているのか。	全員協議会で説明を受け議決しています。	

質 疑 ・ 意 見 等	答 弁
宮古市では原子力問題を取り上げているのか。放射能について普段から調べて市民に公開してもらいたい。不安だ	新聞にも出ていますが、県全体でモニタリングとして定期的に調査し、県民に公表することになった。 市では毎日空間線量を計っている。
市長が毎日あいさつ。「宮古市は必ずや復興します。」は、もういい。 防災行政無線のアナウンスは女性を起用したほうが良い。聞き取りやすい。 震災で被災し人口が減ったが、それ以上に宮古市を離れていっている人がいる。人口の動向が気になるところだ。雇用の場を確保して人口減少に歯止めをする対策を講じてほしい。宮古市は弱い。他の市町村は積極的だ。漁業者の生計を立てるためにも議員の皆さんにもひと踏ん張りがんばってほしい。	ご意見として承ってまいります。頑張ります。
雇用の関係もあるが、地元の業者を使うようにしてほしい。皆に恩恵が回るようにすべきだ。こんな非常事態に、公正公平ばかりをいって市外の業者に仕事を渡しては復興に陰りを落とす。仮設住宅にしても中央の業者がわざわざ使用しにくい建物を建てて多額の工事費をもっていった。地元の業者にやらせればこんなことはなかった。悪循環しているように思えてならない。	信頼できるようやっていると思う。入札に関しても改善されてきている。 ご指摘のとおり、地元業者はリフォーム工事のみがほとんどで、新築工事はハウスメーカーに取られていっているのが現状です。
養殖施設は、お蔭様である。3月に採る分は仕事の見通しがついた。ただ、漁港には電気が通っていないので苦労している。宿漁港に電気を、連絡道となっている市道の早期復旧をお願いしたい。	
宿漁港、日出島漁港には、防災無線が復旧していない。宿の市道は全壊した避難道路をつくってほしい。道路が一本なので整備してほしい。（宿から崎山小中までの区間）	
消防団の関係だが、消防自動車は雨ざらしになっていることが問題だ。女遊戸の第16分団は器具置き場がない。6分団、7分団も同じだ。	
浄土ヶ浜のビジターセンターの役割は何なのか。エレベーターを使用できるメリットはあるが、容易に使用できない状況だ。	看板がないのが問題だと思う。 障害者専用のエレベーターがあるのだが使用できるよう話し合いが必要だと思う。また、ビジターセンターの利用状況はどうなっているのか調べる必要がある。

質 疑 ・ 意 見 等	答 弁
インターチェンジ等書いてあるが、宮古病院へのタッチを考えていないのか。山口と小林でいいのか。計画当初の 60 km道路から 40 km道路に変わっている。	

議会報告会開催結果

日時・会場	参加者数	担当議員
日時：平成 23 年 11 月 22 日（火） 19 時 00 分～20 時 57 分 会場：西ヶ丘地区センター	10 名	〔4 班〕 藤 原 光 昭 竹 花 邦 彦 高屋敷 吉 蔵 高 橋 秀 正 落 合 久 三
質 疑 ・ 意 見 等	答 弁	
自主財源比率が類似都市と比較し低い、宮古市は大丈夫か。	市税収入が落ち込んでいるが、財政健全化法にのっとりクリアしている。	
市税とは固定資産税、市民税のことか。	市民税には、個人、法人税がある。ほか固定資産税、自動車税などがある。	
地方交付税に頼る状況だが内容について。	義務的経費や生活保護者が多くなっている。交付税の依存度が高くなっている。	
三陸自動車道が開通すれば、三鉄はいらないとの声もあるが、公共交通として、また交通弱者対策は必要と思うが、三鉄はどうなるか。	三陸道は復興道路として 7 年で完成予定だ。鉄路は無くしてはならない。老人や高校生が利用する。観光鉄道としても残すべき。一方利用促進も必要。	
災害公営住宅を建てても、空き家が増えるのでは。また、買い取りもできるのか。	建設時に要望を把握して空き家が出ないように建設すると思う。また地場産材を利用した買い取り可能な安価な住宅を供給するよう議会として提言している	
仮設住宅の期限は 2 年だが、住宅建築まで数年かかるがどうしらいいか。	新築するには時間が必要だ。2 年は延長されるのでは。復興計画が示されてから新築まで時間が必要だ。その間の住まいをどうするかが課題で公営住宅に住む事も一つの方法だ。国の支援金の 100 万円、200 万円では足りない。議会として支援を市に提言している。	
市はコンパクトシティに考えるべきでは。	市街地の再生にもつながる施策を考えていると思うし今後議論していく。	
非住居の地域はどの様に。	非住居地の地域は決まっていない。規制すれば買い上げが必要だ。	
国土調査事業を早めるべきでは。	田老、赤前、金浜は新年度に実施。鯉ヶ崎地区では都市計画か他の事業が良いか検討中だ。埋蔵文化財調査を早くとの声もあるが、被災地の国土調査を優先させることにしているとのことだ。	
学校耐震工事が進んでいるが、進捗状況は。津波被害はなかった事業は適切か。	小中の 11 校で事業が終わった。残工事については震災で中断している。検証が必要だ。	
仮設住宅内で自治会組織がない所へ、行政指導すべきではないか。	地域コミュニティを造る事が大事だ。既存の自治体と一緒にするなど難しい面も。役員の成り手がないなど問題もある。	
仮設住宅に網戸がほしい。ネズミが入ってくる。インターホンの設置が必要だ。議会の方からも話してほしい。	議会としても話しているが、できる所とできないところがあるようだ。仮設は県事業だが、市を通じ県に要望する。	

質 疑 ・ 意 見 等	答 弁
仮設住宅支援員を早急に配置し機能するよう増員をお願いしたい。	国の緊急雇用対策の支援事業として社協に市が委託している。増員するよう要望する。
仮設に談話室がないが空き室を利用できないか。	県の考えでは、５０戸以上の仮設に設置だ。空いている部屋は利用すべきだが、他町村からの転入居もまだある。狭い部屋に居る人の要望も含め、それらが落ち付いてから解決する予定だ。
支援物資の支給は市では終わりか。体育館で配布を団体がやっているがなぜか。	広報でも流しているが、１１月２９日～３０日に体育館で予定している。市を通さなければならぬ事はないと思うが。当初と違い市がかかわらないので社協にまかせている。
支援物資が仮設でも在宅でも届かない人がいるが。	仮設の人には物資は届くが、家を直して住んでいる人には何もない。見なし仮設にも目を向ける必要がある
市は支援物資の受付は終了したため、直接仮設住宅に送ってくる。どうにか手だてを。	市は直接送ってくる現実を知らないと思う。仮設、在宅を問わず補給基地はまで必要だ。
グリーピアの仮設の４８０世帯がコミュニケーション不足だ。３か所とも自治会結成が難しく行政の力が借りたい。また、仮設の老人や子供が疎外されていると聞く。教育委員会の方へ話してほしい。	行政の見守りが必要であり、孤独死などないよう話しする。避難者全体のコミュニケーションが必要だ。学校の問題は教育委員会に伝える。
雇用促進住宅に入居の被災者、高齢者はエレベーターがなく住みづらいが。	高齢者などの入居の優先順位について検証も必要だが、見廻るよう行政に話しする。

議会報告会開催結果

日時・会場	参加者数	担当議員
日時：平成 23 年 11 月 24 日（木） 19 時 00 分～21 時 08 分 会場：グリーンピア三陸みやこ	27 名	〔4 班〕 藤 原 光 昭 竹 花 邦 彦 高屋敷 吉 蔵 高 橋 秀 正 落 合 久 三
質 疑 ・ 意 見 等	答 弁	
田老一小の生徒が宮古の仮設から通学しているが、田老の仮設へ転居できないか。	県の実情が必要だが、基本的には認ないとのこと。他市町村からの入居の方を優先するので、それが落ち着いたら世帯分離などを含め、市へ話しておく。	
仮設問題と復興計画の窓口はどこか。	維持管理は建築住宅課。生活問題は被災者生活支援室。復興計画は全体としては、復興推進室です。	
田老漁港の生産基盤の復旧が遅れているが。	田老漁港は県管理だ。県管理の漁港は国の第三次補正予算で決まった。	
海水の放射能はどうなっているのか。調査、検査を実施すべきだが、中々やらない。ワカメの種苗もまだ植えていない。	モニタリング調査をもっとやるべきだ。宮古のタラの値も下落し影響が出ている。毎月でも調査するべきだ。	
復興が遅れる程、人口減少につながる。早めに対策を。また、個別住宅の見通しは。	個々の住まいをどうするか。公営住宅か一戸建てか。など一端入居し将来まで住めるようにすることも必要。地元産材利用の住宅に補助するなど推進計画策定へ向けて検討中。高台移転へのニーズ把握など必要戸数を調査し住民がどうしたいか意志を出すべきでもある。議会の提言にもあるがこれからの取り組みになる。	
復旧基本計画の田老地区の検討委員会の内容がよくわからない。パソコンのインターネットでも見れない。田老の内容が見えるように出してほしい。	計画はかなりの分野で書かれている。復興推進計画は3月策定予定だ。検討委員会の内容は「復興だより」で知らされている。基本計画だからこれから推進計画の策定となる。各地域で説明会を行っており2月末までにまとめることに。9ヶ年の計画だ。時間をかけて議論したいと市長は言っている。	
生活再建資金300万円は期限が26年3月で終わるが、市の単独支援はないのか。支援しますはあくまで計画であってその通りにするかは別だ。	2年間で高台移転の建築は無理だ。期限延長するよう市に要望する。県が権限を持っているが、市の支援は基金の活用方法もある。市の独自の補助を打ち出すよう働きかける。	
復興計画の9年間は長い。早い復興とする様要望してほしい。また高台移転は何年までにとか、目標があれば頑張れる。	要望しておく。	

質 疑 ・ 意 見 等	答 弁
支援物資がまだ直接送られてくる。宮古市は受けないというが生活支援のためまだ必要だ。市の仕事ではないか。そんな時生活支援室に相談に行けば良いのか。	市に確認する。支援物資配布は11月29日～30日シーアリーナで行う予定だ。物資によってはいらない物もある。必要な物は被災者によって違う。保管場所の問題もあり、そんな声が多いので対応したい。議員、地域協議会、町づくり委員のいずれかに相談してほしい
高台に移転をした方が良いのか迷っている。土地評価が3割となったが、同じ面積を同価格で買い取ってくれるか。	土地の買い取りを含めて3月の推進委員会や実施計画に盛り込まれると思う。2mの浸水区域は買取すべきで保証すべきだ。後で方針がでくると思う。
NPOの町づくり推進委員会に住民が誰も出席しない。情報がないと言うばかりではなく積極的に出席してほしい。議員も応援してほしい。	了解した。
グリーピア敷地内に仮設住宅が3ヶ所あるが、防災無線が聞こえない仮設がある。子局を設置できないか。	行政に伝える。
今回、海上の津波感知器は正常に働いたのか。	正常に作動しなかった。
仮設住宅の水道凍結防止対策はどうなっているのか。10月頃検討すると言っていたが未だ回答がない。	市の水道工事店が対策してくれると思う。
グリーピア内の除雪対策はどうか。決まったら教えてほしい。	伝えておく。

議会報告会開催結果

日時・会場	参加者数	担当議員
日時：平成 23 年 11 月 22 日（火） 19 時 00 分～20 時 20 分 会場：花輪農村文化伝承館	12 名	〔5 班〕 近 江 勝 定 佐々木 重 勝 工 藤 小百合 橋 本 久 夫 中 里 榮 輝
質 疑 ・ 意 見 等	答 弁	
市税の滞納について、生活扶助受給してパチンコ等やっている市民がいる。	そんな話をよく聞きますが、具体的な内容が分からない。議会としてもしっかり取り組んでいる。	
防災無線（東日本大震災後）で危機感がない。聞こえないところがある。	議会としても解決出できるよう働きかけている。	
除雪対策について、例年とはどうか。業者は災害復興では。市民が困る状態は解消されたい。通学路が除雪されない。生徒達は車道を歩いている。県道も 2 月～3 月まで除雪されない。	除雪についても強く働きかけているが、昨年のような大雪が降るとなかなか手がまわらないのが実態です。	
排水について、スカイオート付近は冠水するので排水ポンプを整備されたい。長沢川の河床が上がっている。	市でも頑張って計画を立てていると思うが調査してみます。 ⇒平成 23 年 9 月 21 日の台風 15 号の際にも、市ではスカイオート側の長沢川に非常用の排水ポンプを設置しましたが、増水が甚だしく、その一帯が冠水しました。 市では、この地区の排水対策として、平成 24 年度に詳細設計を行い、25 年度に工事を行う計画です。 また、長沢川のしゅんせつについては、県の管理河川であることから、県に要望してまいります。	
避難所（伝承館）について、金浜地区の住民 40 人収容。3 月 11 日は 100 名以上、5 月 31 日は 40 人、4 月 1 日閉鎖（避難所ではないからと）検討されたい。	伝承館が避難所でないのに対しては大変地区の皆様には迷惑をかけたので、今後このようなことがないようにすると思う。	

質 疑 ・ 意 見 等	答 弁
中学校に避難希望するも学校側より拒否された。	中学校の件は調査します。 ⇒宮古市地域防災計画では、津波・高潮の場合における花輪地区の避難所としては、花輪小学校と花輪中学校が指定されています。 平成23年3月11日の東日本大震災の発生を受けて、花輪地区には主として金浜地区の皆さんが避難してきたため、当初は、避難者の皆さんを宮古市地域防災計画に定められている花輪中学校に誘導したようです。 その際、花輪中学校の教職員も、学校が避難所になることは十分に承知していて、地域や消防団の皆さんと連携しながら、毛布や寝具、暖房器具を集めるなど、可能な限り避難者の皆さんが快適に過ごせるような対策に努めたようです。（従って、花輪中学校の関係者が避難者の受け入れを拒否したような事実はありません。） しかし、震災当時がまだ3月上旬であり気温が低かったため避難所として使用した体育館が寒かったこと、また、近隣に花輪農村文化伝承館があったことから、学校関係者、地域や消防団の皆さんが相談して花輪農村文化伝承館に避難所を移す判断をしたようです。 ご承知のとおり、花輪農村文化伝承館は広い日本間やホールのほか、炊き出しが可能な調理室も備えているため、避難者の皆さんが長期にわたって過ごすには十分な施設と考えられます。 従って、今回、宮古市地域防災計画の定めになかった施設を臨時応急的に避難所として使用したことは、学校関係者、地域や消防団の皆さんが避難者本位に考えた末の、賢明な判断だったのではないのでしょうか。
仮設住宅から早く自宅に帰りたい。70代で大変（孫のために頑張る）	
自治会は仮設の入居者がわからない。	個人情報のために市としても教えることができない。
鉾ヶ崎の街づくりは山を崩して埋立て宅地造成されたい。	鉾ヶ崎のことについては現在検討委員会で進行している。
農協からの排水について整備されたい。去年も意見を出している。	調査します。

議会報告会開催結果

日時・会場	参加者数	担当議員
日時：平成 23 年 11 月 24 日（木） 19 時 00 分～20 時 10 分 会場：重茂公民館	12 名	〔5 班〕 近 江 勝 定 佐々木 重 勝 工 藤 小百合 橋 本 久 夫
質 疑 ・ 意 見 等	答 弁	
震災時、重茂地区は孤立した。これを機に重茂半島を通る道路の整備（トンネル化）を望む。	県でもまだトンネル化整備については具体的ではない。県道重茂半島線のかさ上げは提言している。	
県に対する要望が及び腰ではないか。	この道路については議会でも議論し取り上げている。	
消防団の費用弁償が 4,000 円になったとは言え、この大震災における活動は大変なものだった。4,000 円は安すぎる。再検討してほしい。	議会でも今後再検討するとしている。待遇整備をしていきたい。	
千年に一度の災害というなら 1 日 1 万円でも支給すべきだ。	この 4,000 円が妥当だとは思っていない。この声を市当局に届ける。	
港が沈下しているので、作業する場所がない。働く場の場所を早急に確保してほしい。	担当課に伝える。	
埋蔵文化財調査の規制を何とかしてほしい。重茂地区はほとんどがこの対象で、非常に大変だ。	法律で決められているのでなんとも言えないが、これも課題となっている。調査する職員も少ないので、調査が進まないのが現状のようだ。	
市内の水産施設としての冷蔵庫がない。被災して復旧が遅れているがなんとか支援してほしい。	担当課に伝える。	